

コンプライアンス室便り「幸司の部屋」

- テーマ： 1. スポーツ界における暴力行為根絶宣言「JGA が牽引」
2. コンプライアンス実践してる？
3. コロナ禍のテレワーク（インテグリティの必要性）
4. お知らせ



1. スポーツ界における暴力根絶宣言

スポーツは私たち人類が生み出した貴重な文化です。それは自発的な運動の楽しみを基調とし、絆を深めることを可能にし、さらに、次代を担う子供達の生きる力を育むと共に、他者への思いやりや共同精神、公正さや規律を尊ぶ人格を形成します。暴力などの身体的制裁、暴言や態度による人格否定、威圧など多くのハラスメント行為は、スポーツの価値を否定し、私達のスポーツそのものを危険にさらします。フェアプレーの精神やヒューマンティエの尊重を根幹とするスポーツの価値とそれを否定する暴力とは、互い絶対に相いれないもので、暴力行為はたとえどのような理由であれ、それ自体許されないものです。スポーツのあらゆる場面から根絶させなければならないのです。競技者の「する」のみならず、我々の「みる」「ささえる」などの観点から、多くの人々に親しまれるスポーツ、その根幹は体操競技です！我々体操界がこれらを牽引して参りましょう！



2. コンプライアンス実践してる？

前回では「コンプライアンスはコミュニケーションの問題」「Speak up! 言える化の促進」が大切と申し上げました。皆さんその後の実践は如何でしょうか？

ここで「Speak up」が何故大切かをコンプライアンス違反の2種類でご紹介いたします。

コンプライアンス違反にはムシ型（個人的・不正・作為）とカビ型（組織内・ごまかす・不作為）の2つに類型化されます。ムシ型は盗難・横領・情報漏洩など私利私欲から作為的な不正を行い、カビ型は同調圧力や属人的なしがらみなどの忖度から組織的に集団で見て見ぬ振りをする行為です。このカビ型にはコンプライアンスは通用せず、組織の風通しを良くし、風土改革と日頃からのコミュニケーションが大切なのです。「〇〇するな」ではなく「〇〇しよう」、「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」が大切であり、挨拶から始まるコミュニケーション「おはよう」「ありがとう」の徹底を引き続き皆で実践して参りましょう！



3. コロナ禍のテレワーク

コロナ禍でのテレワークでは圧倒的にコミュニケーションが激減しております。ある法則ではコミュニケーションの93%は音声や視覚情報などの「非言語的」な情報でメール等のテキストの「言語的」コミュニケーションでは7%しかできておりません。しかもテレワークでは「見る・聞く・会う・聞こえる・出会う」という受動的コミュニケーションは取れません。なのでコミュニケーションの

総量がコロナ以前と比べて圧倒的に減っています。合わせてテレワーク環境では、上司や仲間の見えないところでの不正やごまかしが容易です。第一線で活躍される皆さんが、他人から見られていなくても自律的に管理して不正や誘惑に陥らない強い意識とエンゲージメント（会社に対する自主的貢献意欲）が求められますが容易ではありません。

そこで、待ってました！ **インテグリティ**の出番です！

組織と個人のインテグリティで心理的一体性（チーム感）を皆で構築して参りましょう！

『個人のインテグリティ』・・・人として行うこと、「言われたこと」だけをするのではなく「期待されること」を自ら考えて行うこと。

『組織のインテグリティ』・・・協会の理念と One Team として一体性を実現するための方法論・組織論

□テレワークの留意点

今般、コンプライアンスおよび健康管理の観点からテレワーク（在宅勤務）に関する留意点をとある会社より入手致しました。ご自身の実施状況について、ご確認いただき、問題がある場合、解消に向けた取り組みをお願いいたします。

【チェックシート】

区分	チェック事項	説明
働く場所	○ 仕事しやすい環境を整えていますか	在宅勤務では長時間同じ場所で作業をすることが増え、腰痛や眼精疲労などの原因になることもあります。椅子の高さ、照明の明るさなどを調節して、無理なく仕事ができる環境を整えておきましょう。
	○ 仕事をする場所を整理整頓していますか	仕事をする場所が散らかっていると、仕事に集中できなくなることもあります。重要書類等の逸失を防ぎ、効率的に仕事を進めるためにも整理整頓を心掛けましょう。
勤務時間と働き方	○ 出社時と同じ生活リズムを維持していますか	在宅勤務では頭と身体が仕事モードに切り替わらないまま、勤務時間が始まってしまうことがあります。これを防ぐために、在宅勤務でも出社時と同じ生活リズムを維持することが大切です。いつもと同じ起床・就寝時間を心がけましょう。
情報漏えいの防止	○ 家族に仕事の話をしたり、見られたりしていませんか	在宅勤務では家族に仕事の情報を知られる可能性があります。家族といえども、社外秘の情報は話さず、工作中的のパソコン画面や会社の書類を見られてしまうことがないようにしましょう。もしも、家族が社外秘の情報を知ってしまい、SNS などに書き込む、友人に話すなどすれば、悪意がなくても家族が加害者となってしまいます。仕事に使う書類は保管場所を決める、仕事用のパソコンは離席時には短時間でも画面ロックするなどして配慮しましょう。 Windows では、[Window]キーを押しながら[L]キーを押すと画面ロックできます。

	o 自宅以外の場所で仕事をする際に、周囲に注意していますか	状況によっては、図書館などで仕事をすることもあるかもしれませんが。その場合、パソコンや書類などをのぞき見されないように注意しましょう。書類は使い終わったらすぐにかばんにしまい、席を離れる際は、書類やパソコンも持って行きましょう。
	o 会社から許可されていないパソコンで仕事をしていますか	在宅勤務で使用する良いパソコンや周辺機器は、会社から貸与されたものや会社から許可を受けたものだけです。許可されていないパソコンや周辺機器を仕事に使うことは、情報漏洩やデータの毀損、ウイルス感染などの原因になります。またパソコンや周辺機器の使用についても、会社から指示されたルールを厳守してください。
コミュニケーション	o 上司や同僚とコミュニケーションを取っていますか	在宅勤務では情報共有や合意形成などが取りづらくなり、思わぬミスが生まれやすくなります。それを回避するために電話やメールなどで積極的にコミュニケーションを取るようにしてください。（コミュニケーションや健康管理の面から ZOOM の活用もご検討ください） また、一人で働くことを孤独に感じる方もいるようです。上司の方は、部下とのコミュニケーションのなかで、心身の健康状態を気遣う一言を添えてみてください。

（参考：ハイテクノロジーコミュニケーションズ社「在宅勤務する際の留意点」）

4. お知らせ

その1 …… 都道府県体操協会の皆様

日頃より体操競技の普及ならびに選手育成にご尽力を賜り心より感謝申し上げます。
各協会様に於かれましても暴力・ハラスメント対応も苦慮されておみえと推察致します。
お悩みになられている事案などで法務的な見地でご相談がございましたら、コンプライアンス委員のメンバーでも
ございます担当弁護士やJOCが開催するNF法務相談などに取次をさせていただきますので何なりとご相談ください。



その2 …… 都道府県体操協会の皆様

只今、4月完成を目的に「暴力・ハラスメント撲滅」「盗撮禁止」のポスターを作成しております。
「暴力・ハラスメント撲滅ポスター」は主催大会会場ならびに管轄クラブなどに掲出をお願い申し上げます。
「盗撮禁止ポスター」は主催大会会場の観客席などで多くの掲出をお願い申し上げます。
共にサイズはA3で当協会のHPに格納し、そこよりDLの上、印刷を頂きます。

その3 …… 4月よりJGA取引先発注方法を改定いたします。

これは公益財団法人として遵守すべく助成金の使途可視化および公正性を担保するものです。
合わせて事務局で働く皆様が不正より守る大切なこととなります。

* 次回発行、コンプライアンスウ室便り「幸司の部屋」は2023年5月を予定しております。